

# MustとWant

評価（意思決定）する（第3回目）

# 選択の意思決定のフロー

【第1段階】

目的を明らかにする ~ 何のために。何が目的で。



【第2段階】

意思決定のための  
条件を洗い出す ~ 選択すべき条件は何かがあるか



【第3段階】

条件をMustとWantに分ける



【第4段階】

評価する (意思決定する)

## 【第3段階】 条件をMustとWantに分ける

条件	Must	Want	選考外
家から1時間以内	<input type="radio"/>		
入学金や授業料が安い		<input type="radio"/>	
男女共学	<input type="radio"/>		
進学率が高い	<input type="radio"/>		
有名大学進学率が高い		<input type="radio"/>	
校則が厳しくない（髪型や髪の色）	<input type="radio"/>		
アルバイトが禁止されていない	<input type="radio"/>		
入りたい部活がある			<input type="radio"/>
入りたい部活が有名			<input type="radio"/>
学校の知名度が高い			<input type="radio"/>
制服がカッコいい（カワイイ）		<input type="radio"/>	
食堂がある		<input type="radio"/>	
教室は冷暖房完備		<input type="radio"/>	
IT設備や図書室が完備			<input type="radio"/>

## 【第4段階】 評価～意思決定をする

	条件	私立A高	県立B高	県立C高
Must	家から1時間以内	○	○	○
	男女共学	○	○	○
	進学率が高い	○	○	○
	校則が厳しくない（髪型や髪の色）	×	○	○
	アルバイトが禁止されていない	×	○	○
Want	入学金や授業料が安い			
	有名大学進学率が高い			
	制服がカッコいい（カワイイ）			
	食堂がある			
	教室は冷暖房完備			

以上の結果から、**私立A高校は、Mustを満たしていない**ので、志望校から外さなければなりません

仮に選んだとすると、後で後悔する可能性が高いといえるでしょう

では、**県立B高校と県立C高校のどちらを選んだ方がいい**のでしょうか

結論は、「**Wantの中で、総合得点の高い高校**」を選択すべきです（次ページ）

**Wantの各条件ごとの優先順位を数値化し、その総合点を持って決定する**という考え方です

- ① Wantの中で、最も優先順位の高い条件のウェイトを10点とします
- ② 次に、各条件（要素）を、①との比較で重要度を数値化します  
（この場合、厳密な比較は不要です。『えいや！』で構いません）
- ③ 各条件（要素）の充実度・満足度を数値で採点します
- ④ 最後に総合点を出し、その最も上位のものを最終決定として選択します

参考：ケプナー・トリゴー法

	条件	ウェイト	私立A高	県立B高	県立C高
Must	家から1時間以内		○	○	○
	男女共学		○	○	○
	進学率が高い		○	○	○
	校則が厳しくない（髪型や髪の色）		×	○	○
	アルバイトが禁止されていない		×	○	○
Want	入学金や授業料が安い	6		6	6
	有名大学進学率が高い	10		7	5
	制服がカッコいい（カワイイ）	8		6	6
	食堂がある	7		6	0
	教室は冷暖房完備	5		0	3
Want 得点合計				25	20